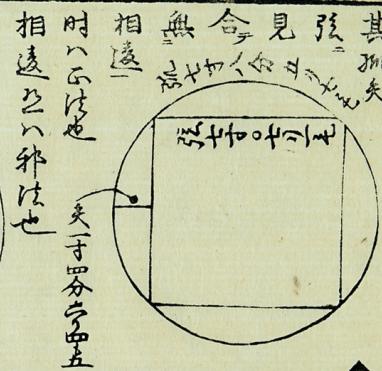


疏失経之密

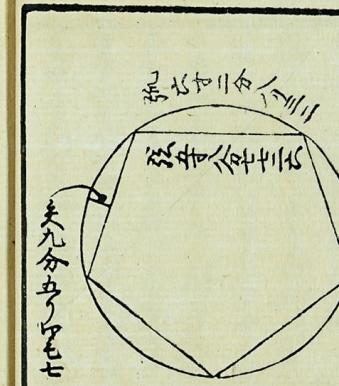
今來取て夫をす強六すと疏

夫六すと間
夫六すと疏

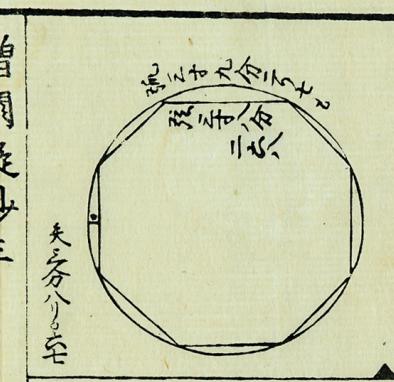


法三疏六すと間合すと三拾六奇也
夫六すと間合すと三拾六奇也
夫六すと間合すと三拾六奇也
夫六すと間合すと三拾六奇也
夫六すと間合すと三拾六奇也
夫六すと間合すと三拾六奇也

又疏六すと間合すと強六す
夫六すと間合すと強六す



法三疏六すと間合すと強六すと夫をす
夫六すと間合すと強六すと夫をす
夫六すと間合すと強六すと夫をす
夫六すと間合すと強六すと夫をす
夫六すと間合すと強六すと夫をす
夫六すと間合すと強六すと夫をす



右く通小て疏大往ノ例正
物と試ヒ云候也

辛亥辰亦は疏往相因ニ
アラ小刻つひの去往並モテ

疏と周とニぬもと略ノ小
刻ナリ 往ニ立す内立す
引拂り守小弦六寸を參モテ
是ニラ小除得あてらる城
其害ナシ 未往立す
シハ少紙のあざ門なガリ
未往立す
内上寸引
下四寸也
未往立す
内上寸引
下四寸也
未往立す
内上寸引
下四寸也
未往立す
内上寸引
下四寸也

右紀取疏往大弦ノ式ハ右納ノ規矩參時
手引只立拂く御式ありム人へち助
事一経ヘ一粒中或ヒ付ナリ也

辛亥辰ニ申法

今辛亥辰ノ庚子亥子立法六度

山赤松白合之合

壬午山赤武分

法未往立大弦ノ例小て往と來疏往大
御疏往と求往未人疏六寸ウ分ハリト知
板疏往未定法小て刻すも拾六
未往立又往ニ立す内丈寸也

引拂一尺す小弦六寸と無引拂別す
拾六寸と放そとて拾六寸が分内丈
引拂て山赤分立是が參經ノ事移
ト知ヘ

從者有行ノ御取くなら往先近也
被動磨也

今長往或人辛短往ニ

人辛卯引拂に相

庭一寸す亦或百三十

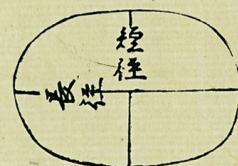
セ亦立拂時急也

長往一尺八寸立

短往二尺五寸

御立拂一尺百二十也

四百十系官參微



今辛卯引拂長往ニ人

五寸人辛經往ニ人ニす

セ亦立拂時急也

長往一尺八寸立

短往二尺五寸

御立拂一尺百二十也

四百十系官參微

経住自因一四百十丈を求メ得九三十六引小半卯取之者一百十六丈と求_レ経住は先用根は七百十六丈とて做九三六と除得三百三十丈ア是と開半は小除ミ相應の経住を人五丈と分也是と之長住二人丈す小余シテ長住二丈とて除相應の長住を八丈す十分又三分也又えも長住ト二丈又三分長住と自因トて始の歩数小因是と右卯取の歩数小除開半は小除て長住と分也經住を求ハおの御同意也

法三丈長住より経住と門法て三丈分_リ長住丈人或す三分せ無_シ捨九丈三分六丈と除引又走丈人或す三分としけ合後は七九。又七九百捨九丈三分九丈四毛七余四忽八微と除二丈合て熱ア敷と分也

寸歩百疋捨八丈九分入而下毛十余四忽微_リ是と半卯取と経住丈人或す三分長住と言_シ等と人立すら分法三丈百五捨八丈九分又丈毛十丈毛四忽五微と左小並れ小て短一丈半_リ

又云丈人半卯取小半卯取を倍小て化などは人_レ彼長住即人丈すと自國ト六百六十丈ア是とせ倍して千武百六十丈と半平に除と相應と長住三丈すと分丈三三九と分也と右之長住二人丈すとて除カ也經住二人丈す分八丈四三丈と如也

経住より始へ初人丈と経住と自因トて倍之用半法除てかくまよと長住と求ル丈半_レ御同意也

又寸歩百疋捨八丈九分丈四毛十余四忽五微有毛と半卯取小化とと長住經住

経住三丈三分

長住丈人或す三分

経住丈人或す三分

奉書者小ち教百み十八歩九
歩九寸四也す承ひ忽め微と
差字武がと行うて平卯
の毛經と合術と略法並く
也亦教と合法七九〇步三涂
得二百。走ち。ハアと東
十息余一列ニ又見守二分
合法七九〇步三涂得四百。
走八毛也是とあ常般算
法小除得三經往き人或三
分也

法三三すち教百五拾八歩九分五也
毛七四又と定不無商小字と合毛
合百步と教と合法七九。五と魚十拾九
歩。五也と教と定不無商
常般之す或もと九九歩より一二の或
一二の或あり一歩て四拾歩九分。也
七四步九歩次と商小字すと三法小
神次と商き人或すと教と合法七
九。五一無き人七す二分九也をもと
きもと一小次と商或すと九九歩より
一二の或拾ちり二七の拾四歩。一二の
經往き人或す三分九歩也
向。七四步九也す分九九二六
則曰走人二す二分九歩也
三一六二セ業得三尺八す八分
九リ二と二系ノ別長往き内セ
經往城一と朱茶ニす武がと
走を倍三六す少也とぞとぞ
小加一付小也人立す三九リ二
六系ハ廻人かり
平卯取之也人立す武が
九リ二も六系ハ經往き人三
す三分也長往き合
五分長往き人立す武
物曰走人立す三分九歩也

平卯取之長往き人立す家
經往き人立す三分九歩也
向。七四步九也す分九九二六
則曰走人二す二分九歩也
三一六二セ業得三尺八す八分
九リ二と二系ノ別長往き内セ
經往城一と朱茶ニす武がと
走を倍三六す少也とぞとぞ
小加一付小也人立す三九リ二
六系ハ廻人かり
平卯取之也人立す武が
九リ二も六系ハ經往き人三
す三分也長往き合
五分長往き人立す武
物曰走人立す三分九歩也

一二の或拾ちり二七の拾四歩。一二の
六分門二九のまき分へや。一二の或も
一列ニ又次の商或す小常般三す
分せ九九歩より二二の六歩。二二の
四分門一列ニ又十六步。四分門も七步。也
忽五微寛少也。三一商小二三分と三法
初次と。商を人或す人或す三分と也。也
初次と。商を人或す人或す三分と也。也
武分。九毛を系五忽五教を小二商

三分と九九歩より二二の歩

三一六二セ末得三人八分八
九リニセ六余一毛セムノミ役

内ノ底ナ余六す少モヒト
打手シテニス武多毛小短
徑セテノ伏小一人辛ナモヒト
辛卯取之過人立す三分九
至ニモ六余リ長徑セテ今等
穴也短徑どる

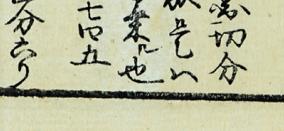
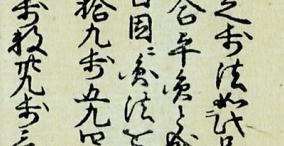
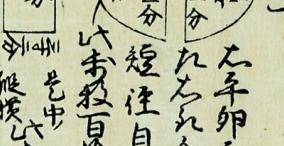
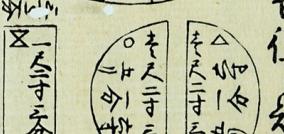
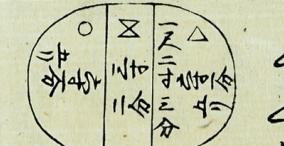
そ多く短徑を人手する

術曰二人の内長徑を倍定
辛手減止余を人手する
九至底毛六余セテ左はも幸
六二小除短徑を人手する
と初也
左を定法ハ三一六二セ角三減

三九の式亦十分引ニ三の六引

三九の式も十引引

三五の式も十引引 例又三の商
三分小常減之すがをど九九ドヒテ
之三の九半引ニ三の六を引拂
商も辛卯取之短徑セテ小常減セ
トと長徑ト初也



二口合百五拾八歩九分八厘毛七毫四絲又微
更夫と長徑と左をもく
長徑と同ととへ是夫の

因克倍六す少分と減止

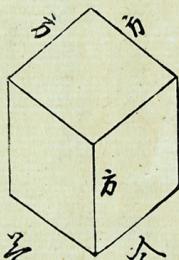
金と多過法三一六二に

除短徑一尺二寸三分と初

今す坪拾武万六千百四十
坪半と三方三尺二寸
小々中ハ方尺二寸中大
大方一倍ノ吉ノ数と合
小 一尺武
呑み中 二尺四寸
大 四尺八寸

術曰一と再自因して左塙

号



今三方四方を尺二寸

号



今三方四方を尺二寸

坪数と合

号 千七百武拾八坪

法と三方四方と武方合百坪數と初也

ニヒ再自因して八千坪四
自因して六万四千坪三答

七万三千坪てゐはゆて坪

数と除得一千七百二十八坪

乃言之用立法と除き小

方一尺二寸と知

今後四尺ニ寸八分換或尺

五寸厚五分の板と是も

木くを不捨積ニ第と造り

ト時口四方より除サへたす

長くして名入教と云

そと云ロ一尺二寸厚方外規

渺白板の縦横相系と

又厚と重得五百三十五坪

す坪千七百武拾八坪足と三方ノ方と合

三丈三と尺武す

法と云坪教と用立法と除方尺と知

三方ニとのたの隅を下れ右と隅と仰天

りと云ひ言ふ二尺〇七分ハリ四毛

法と云方を三尺ニ寸

二尺〇七分ハリ四毛

法と云方を三尺ニ寸

二尺〇七分ハリ四毛

法と云方を三尺ニ寸

二尺〇七分ハリ四毛

法と云方を三尺ニ寸

二尺〇七分ハリ四毛

と知ヘ一

又云之立方の徑尺と知く方と求ル

右も一尺ニニとし別角

右一尺ニニの根源と方を人四方

又と云云

除一尺八寸外規

△

渺白板の縦横相系と

又厚と重得五百三十五坪

六面ノ径尺を人七寸七分ニ分ニテシテ

是ハ約股弦と根より人三尺六寸

方を人二尺三寸六分六厘と考る渺

三尺六寸と無合す考百歩と餘毫小ニと

シケ三百步と考る是と同半法小降

シテ胡ニ此の見六寸倍と考

考人少と云ふと云す故

是小厚之倍一寸二分と考小

半と云常能用半法と除

シ得高さと考すがうも

川箱の口四分の内總と加

是小六寸と云ふと考人七寸

源ガウ和起の考をす考也

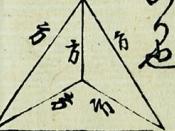
法と云板の縦小模と云ふ又厚と云

法と云板の縦小模と云ふ又厚と云

本書もゆく解之奉手す七
分うち換式入ふす原分
之換少く緒と遙る別法云
板の坪数三百九十七坪之
内余分再自因して倍之
うるべしすがて減拭一余
三百九十六坪をうらう
引小至みを小六とすま
得ニキラ等あ止余の坪
引小至みを小六とすま
と除と得三百三十或ち或ひ
五乗一等用開年法小除と
得等天をすへ分を内介
之半均之天をうれか内
よりみを減一内規とすか
又加えか起を天威すから

す坪三百九拾七坪とむる板厚と
を倍少して天をすめと二度總合
す坪を坪と底量とを坪と内より
引減て三百九拾六坪と底量とを取
五分少く割すす七百九拾式す
天を減六面と六小三り百ニ捨式す
と天小底厚とを倍少して量般小
用開年法小除内の天を底量と
倍加一等のうれ
今蕎麥根式

蕎麥根式



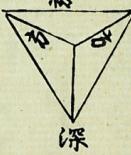
す坪或百三坪六三四

蕎麥根定法別考小
云一七八五くは條へ方
せす。七一之立方と口
く角往きと規定と
角と切筋と切寫
から然に圖

形術

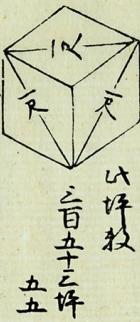
法云方を天式すと二度總合と法
一一七八三と號て坪数と號也
又云坪数ひて蕎麥根小化少く坪数と
を定法一一七八三小割開立小除
かく一一七八三の根源写して云

方を天のそぞろひ

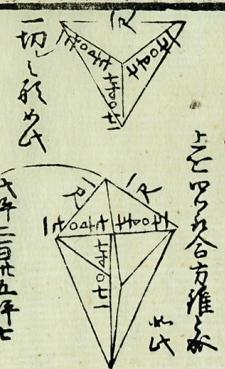


深三方淮小

上と底各方淮



八坪根
五百五十二坪



切し根式
(八坪二百九十五坪)

维法云之坪と天を以百十七坪へ
之根をかく足法とをうけりて源と
と求る術の約股弦の曲天をくえ

左立方角を方維の併と
引継ぐ百十七坪八五七百四
中央の差を支承の併と見し
とかねて捨て一も細へ
七一十九本余て捨たる
すく手書き小紀たゞ正法
かれも多事のえが少後て
かお遠ぢ也

今差を支承と切花と併取
和而四千二百七十六坪又分
〇六七二系の差をとくに
行て各人教とむ

術曰併取と定法二五七に
八三十六く除き得半七百三

八坪と半減用半法小除借
きくはす是をもく方維教也
右定法ハ切花の法二三五七と
差を支承は一七八三と併令
教也

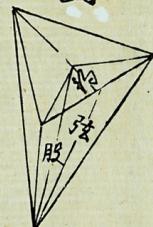
今切花と差を支承と併取
四百九十九坪六分二十六毛
五切花うち差を支承はす
一合方入と

三合
差を支承方を入式す

術曰支承と再自因得八坪
是小切花の法二三五七と
十八坪八分五十九毛六
と加坪より減一丈余

たゞく方を大のとくこと二方准
えりと支承四捨之す三分以上と三
ツ小刻ハ捨て一も分三つもよする
もとを倍ノ方をくへ小づり式すハ
も八種六毛六系と称せと約よく板
二方の中達ハすた分うと強とよく
約股弦と股と求ル術とす八寸半六
リニモ十系八忽と称せある方維源也

其圖



如古今之股

名承之也

又別法云右のとくにて式す八分八毛
六毛六系と求ルと二方の中達ハす
六分うちの内うち引継てあすまう
ニ毛六系のとて約股弦と
取てく方をとて強とよ約股弦と
股と求ル術と半股八すを分すと
毛七系八忽と称せある方維源也

其圖



股者
承也 勝也

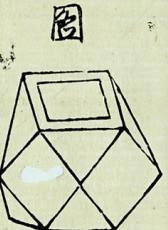
に千百七十一坪八分九釐と定
法は二に七で八三除得十六
百八十九坪七分九厘八
二七乃実之別矣或自因して
得に七是に三因十二
七除是不二三五七
三四七而八三除得十一
三四二八六六三七七八士
あやう二歩常解入判小差乃
二步常解二三因一ト六是
七セシ案以ニ七で七の八三除
得立す分アリモ三三一八八
七一七セス常解一圓半
除を得三高ニ一尺是判常
於之方而也

ち二法いつとのあ小え立もとも決
日板小乞やれ分別成法と判一
世間の業者乞とまじり自分のスム
小シヤモニ亦法とレヒテ亦四
ニナモニ亦法とレヒテ亦四
ニナモニ亦法とレヒテ亦四
改如タマニ又考委取ハ前半
シキモチ教とばりとくとくこの方
とクケ合定法の一七ニニとクケルヒ
法の根源ハ方を人のもとかとく半
三高ヤウタカルヒニニトクケルヒ
用也

今切方と考委取之和
坪二十五百六十坪〇六分

一尺二系ゆ急ニ切方
万九千九百九十九分九厘
ニす度一尺を

切 茄 刻



今切茄迄方一尺六寸
八分九厘

四千九百九十九分九厘

圖

法多分とニ及合定法ニニ七每
又云坪數からて切茄之方と求ムと定法ニ
三立七小く別とも用立法とし除也

右ニ三五七の根源ハ方を人の切茄と
切方とされハ中大方版三立七每

方小原幅淮ウラノ延 方を尺未
切茄と切方と考めた記

八坪七小考委取法ニモ六
系ゆ急ニ切方と考委取之和
万九千九百五十九坪
六分九千九百九十九分九厘
定法は二に七で八三除得
二十四坪余ハ四〇一八

八五三八ヲみ安之 刃小

九二自圓得ニ由是小

三周して十二歩先をとて

定法二十七八三を來以三

七四八二除得五分一

す三三六二一三二是とねあ

事絶 別小又貞二そ三

圓と六寸是下をとて

定法一七八三と來以三

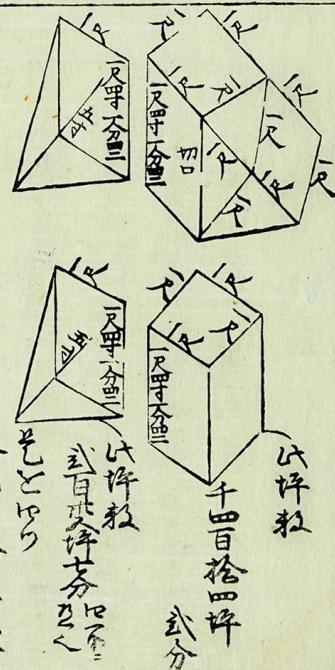
七四八二除得二分八うも

六六八一〇六四九六二二是せ

お二事絶一圓三法小除三

得商一尺一是一別切糸乃

方面ナラ



今初糸と善夏糸と坪教

并合せ千百九十坪。七分

二二毛方入和と二尺二

寸但切糸ど善夏糸と小也

合尺教合

今初糸と善夏糸と坪教

并合せ千百九十坪。七分

二二毛方入和と二尺二

寸但切糸ど善夏糸と小也

合尺教合

善夏糸と善夏糸と坪教

和足わまと得二尺を

小是一是一得千三百三

三素得三千或百九十三坪

九分九里八毛七三二志掌を坪

内うち減之出余八百九

六坪十分二二七是一半年

曾闡疑林

卷四

年五

後アフタノ尺ト求ムてシテ人ヒトの角徑カクジンを
人ヒト守マサニ分マサニ也モとア方堅ニ堅
尺ト厚幅淮ニ幅ハ用ム也モ又切糸の
き面マツニ方堅ニ方尺ト厚幅淮ニ
至シてシ用ムに方カより淮マツニ切爲カ

一たたひ得セ

厚幅淮ニ源ミ紙シ切カトヘ厚シとシ
人ヒトとシ或シ小割スすシ是シとシ約シとシ
是シとシその角徑カクジンをシテ人ヒト守マサニ分マサニ
或シ毛モとシ或シ小割スすシ是シとシ約シとシ

是シとシ強シ人ヒト約股シ強シノ術シとシ本シ